

西光寺だより

第二号 平成二十二年十月一日発行

暑い夏も過ぎ、秋風が心地良い季節となってきました。今年の夏は、猛暑だったため秋の訪れが本当に待ち遠しかったですね。皆様、体調などは崩されていませんか？

さて、西光寺において十月は永代経、十一月は報恩講の月です。

永代経は、故人を縁として寺院に参拝し、故人を偲ぶとともに、自分自身が仏法聴聞を重ねていく機会でございます。

また、報恩講は、宗祖親鸞聖人のご命日に恩徳をたたえ、念仏の教えを聞くことを趣旨とするもので、浄土真宗最大の行事です（詳細は後述にて）。

毎年行われている行事ですが、それぞれに深い意味があることを知っていたら、改めてお念仏を味わう一日にしていただけではないと思います。皆様のお越しを心よりお待ちしております。皆でお勤めいたしましょう。

◆十月・十一月の行事◆

十月九日（土）午後二時・午後七時

秋季永代経法要

十一月二十三日（火・祝）午後一時より追弔会

引き続き午後二時・午後七時

報恩講法要

●今月のことば●

『報恩講』

報恩講とは、宗祖親鸞聖人を偲び、そのご恩に報いるよう、お念仏をよりいっそう味わわせていただくということからつとめられる、浄土真宗にとって、一年のうちでもっとも大切な仏事です。

聖人は、弘長二年（一二六二）十一月二十八日、九十歳の生涯を京都でとじられました。そして、聖人の遺徳を偲んで毎月の二十八日に、門徒たちによってお念仏の集いが営まれるようになり、これがさらに大きく広がっていき、本願寺第三世の覚如上人によって法会の基本となる形が明らかにされました。そして、この法会の集まりを「講」と称し、浄土真宗のみ教えを明らかにしてくださいました聖人のご恩に報いる法会であることから、「報恩講」と呼ばれるようになったのです。

「報恩講さん」…浄土真宗者にとって本当に親しみ深い言葉ですね。



宗祖親鸞聖人絵図

◆先月の報告◆

□ 仏教婦人会報恩講

九月二十一日午後一時より、西光寺にて仏教婦人会報恩講が行われました。今回は、正信偈をお勤めした後、皆で「門徒の仏事」という冊子を作成いたしました。これは、仏壇のまつり方やお参りの心がけなど日頃の仏事について分かりやすくまとめたものです。

おひとりおひとりがお作りになられた冊子ですので、ご自分の本として家でのお参りの際にお役立てください。

なお、今回参加できなかった方や必要な方がおられましたら、必要部数を西光寺までご連絡ください。月参りの際などにお持ちいたします。

② 住職補任式・補任研修

九月二十七・二十八日に新任職になるため京都西本願寺にて一泊二日で私櫻井善紀と門徒総代の寺田一雄様で受けてまいりました。一日目は仏事作法の説明、法座活動で各々が各班に分かれて話し合い、充実した時間を過ごした後、本願寺聞法会館で宿泊しました。

二日目は朝六時に晨朝参拝し、十時より住職補任式を受けました。ご門主様自ら一人ずつ表彰状を渡して頂き、新任住職としてとても荘厳な気持ちになり、前住職の父の後ろ姿がほんの少し見えた様な気がしました。たった二日間でしたが、人生の通過点ではなく、分岐点になれた様な気がしました。

気持ち新たに今できることをしっかりとやり、護持運営に励んでまいりますのでこれからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。寺田さんも他の総代さんとより良い交流があつて、よい経験になったと喜んでおられました。お疲れ様でした、そして有難うございました。

♪お知らせ♪

「ホームページ開設しました!」

この度、より多くの方に西光寺を知っていただきたくホームページを開設いたしました!

いつもご尽力いただいているご門徒さんはもちろんのこと、お仕事などでお忙しい方や遠方にいらっしゃる方、お身体が御不自由な方にも西光寺の活動を知っていただけるようになるかと思ひます。また、西光寺をまだご存じでない方もこのホームページを通して知っていただくことが出来るかと思ひます。どうぞ皆様、どんどん活用してください。そして、周りの方にもお知らせいただければ嬉しいです。

詳しくはホームページをご覧くださいければお分かりかと思ひますが、メールで問い合わせもできるようにしておりますので、普段聞けないことなどもどうぞお気軽にお問い合わせください。

「西光寺だより」に続き、ホームページも西光寺の新たな試みの一歩としてご愛用していただければ幸甚です。どうぞよろしくお願ひいたします。

西光寺ホームページアドレス

<http://www.osaka-saikouji.net/>

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>